

伏見探訪

京都市中心部から南へ少し離れた伏見。今もなお歴史の面影が残り、酒蔵が立ち並び、活気ある商業が営まれている。どこかへふらっと出かけたくなる季節、あなたも伏見を訪ねてみませんか？（おぐら）

歴史を知る

長建寺～十石舟～三栖閘門～寺田屋

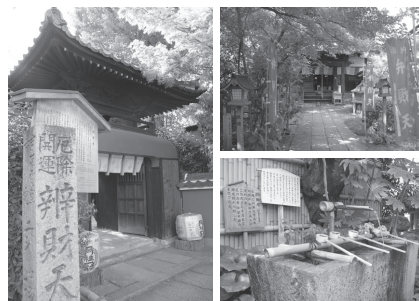
中書島駅を降りてから、ぶらぶらと路地を歩いていると、水路沿いに小さなお寺を見つけた。深紅の門が特徴的なこのお寺は、**長建寺**というそうだ。

境内は落ち着いた雰囲気包まれ、名水が湧き出ている。ここのご本尊は「島の弁天さん」として親しまれている。伏見を往来する人々をずっとこの地で見守り続けてきたのだろう。



京阪線の橋梁を過ぎると、舟は小さな船着場に泊まった。ここには、**三栖閘門資料館**があり、水運で発展してきた伏見の歴史を学ぶことができる。

三栖閘門は淀川の新堤防建設後も宇治川との水運を継続するために、大正時代に建築された水門だ。すでに本来の役目は終えているが、堂々たる雄姿を今に残している。



長建寺を出ると、近くの橋のたもとに船着場が見えた。ここでは、江戸時代以来、淀川を経由して伏見と大阪を結んでいた**十石舟**が再現されている。約50分の乗船体験ができるそうだ。

伏見を訪れたからには、船旅を楽しんでみることにした。水路沿いには柳が垂れ、青空によく映えている。水面は穏やかで船上に吹く風も心地よい。



再び長建寺前の船着場に戻ってきた。水路沿いを歩き、小さな橋を渡って左に折れると、どこか古めかしい建物が目に入った。近づいてみると、それはあの坂本竜馬ゆかりの**寺田屋**だった。

幕末の動乱期、この宿屋を舞台にした寺田屋騒動はあまりに有名だ。中は往時の姿が再現されており、まさに歴史の舞台に立っているのだと感じた。

（情・院 よこはまLove）
（台風11号に予定掻き乱されたマン；編）

日本酒を味わう

月桂冠大倉記念館～伏見夢百衆～黄桜記念館

伏見といえば、古くから日本酒で有名な場所だ。**月桂冠大倉記念館**では、酒造に使われていた道具や昔の広告ポスターなどを見学することができた。入館者にはお土産や試飲のサービスも。温かい心遣いが何とも嬉しい。

伏見夢百衆は旧月桂冠本店を改装したおみやげ処だ。その中の喫茶で利き酒に挑戦してみた。なるほど、一口に日本酒と言えど、それぞれ風味に個性があるものだ。



そこから北へ数分歩くと**黄桜記念館**が見えてくる。こちらも伏見を代表する日本酒メーカーだ。その中は、酒造の工程などの解説はもちろん、黄桜のCMキャラクターであるカップにまつわる展示も豊富で驚かされた。

中庭では、日本酒などのお酒を売っていたので、早速一杯買ってみた。いやはや、ベンチに腰掛けて青空を見上げながらお酒を嗜むのは、とても贅沢な気分だ。



買い物を楽しむ

大手筋商店街～竜馬通り商店街

太閤秀吉の伏見城築城以来、商業も盛んだった伏見の街。今もそれは変わっていない。飲食チェーン店から地元の和菓子屋まで、さまざまな店が軒を連ねるこの**大手筋商店街**は、東西に続くアーケードの下、多くの買い物客で賑わっていた。



大手筋商店街の西端を左に曲がり、しばらく進んだところに伸びているのが**竜馬通り商店街**だ。この付近は、寺田屋騒動で竜馬が駆け抜けたとも言われている。幕末の雰囲気を楽しみながら、土産物を手に入れることができる一角だ。

～伏見探訪 名所案内図～



～交通案内～

京阪 伏見桃山駅または中書島駅下車
出町駅から約17分、330円
近鉄 桃山御陵前駅下車
京都駅から約10分、260円